

血液学的検査



凝固・線溶系

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量(mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患	
4012	PT (プロトロンビン時間) 2B030-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 0.3	4	血漿凍結	1~3	18 血液	自動化法	80~120 %	3.2%クエン酸Na0.2mL入り 容器に血液1.8mLを採取 混和後血漿分離 4℃保存 (血漿分離後凍結保存)	【延長】凝固因子欠損症・DIC 分子異常症・凝固因子産生低下 消費亢進・抗凝固薬投与・肝障害 V.K欠乏	
4014	APTT (活性化部分トロンボプラスチン時間) 2B020-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 0.3	4	血漿凍結	1~3	29 血液	自動化法	45.0以下 秒		【延長】凝固因子欠乏症・血友病A 血友病B・肝炎・肝硬変・V.K欠乏 DIC・フォンウィルブラント病	
4015	フィブリノゲン 2B100-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 0.3	4	血漿凍結	1~3	23 血液	自動化法	150~340 mg/dL		【延長】肺脈血栓症・心筋梗塞・脳血栓症・悪 性腫瘍・敗血症・感染症・肝障害 【低値】無・低フィブリノゲン血症・DIC 肝障害・血栓亢進	
4019	FDP (フィブリン・フィブリノゲン分解産物)	クエン酸Na 血漿 0.5	4	血漿凍結	1~3	80 血液	LA	5.0以下 μg/mL		【高値】DIC・白血病・妊娠中毒 血栓症・肝硬変・糸球体腎炎 膠原病・1次および2次線溶亢進 血栓性血小板減少性紫斑病	
4020	2B120-0000-022-062 2B120-0000-001-062	尿 2.0	77	凍結	3~7	72 尿・便	LPIA	100以下 ng/mL			
9541	Dダイマー 2B140-0000-022-062	半定量	クエン酸Na 血漿 0.5	4	血漿凍結	1~3	128* 血液	LA	1.0未満 μg/mL	3.2%クエン酸Na0.2mL入り 容器に血液1.8mLを採取 混和後血漿分離 4℃保存 (血漿分離後凍結保存)	【高値】DIC・血栓症 二次線溶の亢進状態 急性静脈血栓症・大動脈瘤 薬物投与(ワロキナーゼ、 t-PAなど)・肺梗塞・悪性腫瘍 肝硬変症・妊娠中
4092		定量									
9542	TAT (トロンビン・アンチトロンビン複合体) 2B210-0000-022-052	クエン酸Na 血漿 0.5	4	血漿凍結	3~4	181* 血液	CLEIA	3.0未満 ng/mL	【高値】DIC・血栓症 (肺閉塞症、深部静脈血栓など) 肝硬変・悪性腫瘍		
2159	プロトロンビン フラグメントF1+2 2B170-0000-022-023	クエン酸Na 血漿 0.5	4	血漿凍結	3~6	193* 血液	EIA	69~229 p mol/L	単独検体で ご提出ください。	【高値】DIC・血栓症(急性心筋梗塞、 静脈血栓症、大動脈瘤)・悪性腫瘍 【低値】ワーファリンによる治療時	
4057	プラスミノゲン活性 2B260-0000-022-315	クエン酸Na 血漿 0.5	4	血漿凍結	3~5	100 血液	合成基質法	71~128 %	【高値】急性炎症性疾患・悪性腫瘍・妊娠 【低値】先天性プラスミンヒター欠乏症 肝機能障害・線溶亢進状態・DIC		
4055	アンチトロンビンⅢ (AT) 2B200-0000-022-315 2B200-0000-022-062	活性	クエン酸Na 血漿 0.5	4	血漿凍結	1~3	70 血液	合成基質法	75~125 %	3.2%クエン酸Na0.2mL入り 容器に血液1.8mLを採取 混和後血漿分離 4℃保存 (血漿分離後凍結保存)	【低値】先天性ATⅢ欠乏症・肝硬変 劇症肝炎・ネフローゼ症候群 DIC・肺梗塞・心筋梗塞・静脈血栓
4056		抗原量									
4059	α2プラスミン インヒビター 2B270-0000-022-315	クエン酸Na 血漿 0.5	4	血漿凍結	3~5	128* 血液	合成基質法	85~118 %	【高値】急性炎症性疾患 【低値】DIC・肝機能障害 血栓症・抗凝固剤投与 先天性プラスミンヒター欠乏症		
9509	α2-PIC (α2プラスミンインヒビター-プラスミン複合体) 2B280-0000-022-062	クエン酸Na 血漿 0.5	4	血漿凍結	3~5	158* 血液	LPIA	0.8未満 μg/mL	【高値】血栓性疾患・DIC 悪性腫瘍		

* 出血・凝固検査の包括 1回に採取した血液を用いて3項目以上行った場合
3項目又は4項目：530点 5項目以上：722点

※プロトロンビンフラグメントF1+2をトロンビン・アンチトロンビン複合体(TAT)と同時に測定した場合には、主たるもののみ算定する。



凝固・線溶系

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量 (mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
4176	v・W因子活性 (フォンウィルブランド因子活性) 2B480-0000-022-316	クエン酸Na 血漿 0.5	4	血漿 凍結	3~6	* 132 血液	固定血小板 凝集法	60~170 %	3.2%クエン酸Na0.2mL入り 容器に血液1.8mLを採取 混和後血漿分離 4℃保存 (血漿分離後凍結保存)	【高値】 DIC・腎疾患・心筋梗塞 慢性肝炎・肝硬変 【低値】 von willebrand病
4089	トロンボモジュリン 2B730-0000-023-052	血清 0.3	1	凍結	3~5	* 204 血液	CLEIA	12.1~24.9 U/mL		【高値】 DIC・SLE・リウマチ熱 腎不全・糖尿病 血栓性血小板減少性紫斑病
9463	プロテインC 2B700-0000-022-311 2B700-0000-022-062	活性 クエン酸Na 血漿 0.4	4	血漿 凍結	3~5	* 241 血液	凝固時間法	64~146 %		【低値】 DIC・V.K製剤投与 肝硬変・慢性肝炎 プロテインC欠乏症
9462		抗原量 クエン酸Na 血漿 0.3			3~6	* 239 血液	LPIA	70~150 %		
4090	プロテインS 2B710-0000-022-311 2B710-0000-022-023	活性 クエン酸Na 血漿 0.4	4	血漿 凍結	3~5	* 168 血液	凝固時間法	男 67~164 女 56~126 %		【低値】 プロテインS欠乏症・DIC 抗ビタミンK製剤投与・慢性肝炎 妊婦・肝硬変・SLE・ステロイド剤投与 経口避妊薬服用
4096		抗原量 クエン酸Na 血漿 0.2			3~7	* 162 血液	EIA	65~135 %		
2856	プロテインS (遊離型抗原量) 2B711-0000-022-062	クエン酸Na 血漿 0.3	4	血漿 凍結	3~5	* 162 血液	ラテックス 凝集反応	60~150 %		【低値】 DIC 先天性プロテインS欠乏症 肝疾患
4097	PAI-1 (プラスミノゲンアクチベーター抑制因子) 2B310-0000-022-062	クエン酸Na 血漿 0.5	4	血漿 凍結	3~6	* 240 血液	ラテックス 凝集反応	50.0以下 ng/mL		【高値】 線溶抑制型DIC 動脈血栓症・心筋梗塞 肝硬変・感染症 【低値】 PAI-1欠乏症
4046	第II因子 2B350-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 0.4	4	血漿 凍結	3~5	* 223 血液	凝固時間法	75~135 %		【高値】 妊娠 【低値】 肝障害・DIC・V.K不足時 先天性異常による欠乏症・新生児出血
4047	第V因子 2B370-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 0.4	4	血漿 凍結	3~5	* 223 血液	凝固時間法	70~135 %	3.2%クエン酸Na0.2mL入り 容器に血液1.8mLを採取 混和後血漿分離 4℃保存 (血漿分離後凍結保存)	【高値】 妊娠・心筋梗塞・静脈血栓 経口避妊薬服用 【低値】 先天性第V因子欠乏症保因者 DIC・肝障害・V.K欠乏症
4048	第VII因子 2B380-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 0.4	4	血漿 凍結	3~5	* 223 血液	凝固時間法	75~140 %		【高値】 妊娠・血液凝固亢進状態 経口避妊薬内服・第VII因子欠乏症 【低値】 膵管閉塞・慢性膵炎 ワーファリン投与・肝硬変・胆管閉塞・肝癌
4049	第VIII因子 2B390-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 0.4	4	血漿 凍結	3~5	* 223 血液	凝固時間法	60~150 %		【高値】 妊娠・薬物投与(ドーパミン、アドレナリン) 【低値】 血友病Aおよび保因者 von Willebrand病 DIC・抗VII因子物質出現時
4050	第IX因子 2B400-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 0.4	4	血漿 凍結	3~6	* 223 血液	凝固時間法	74~149 %		【高値】 妊娠・薬物投与 (ドーパミン、アドレナリン) 【低値】 血友病B及び保因者 DIC・肝障害・V.K欠乏症
4051	第X因子 2B410-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 0.4	4	血漿 凍結	3~5	* 223 血液	凝固時間法	70~130 %		【高値】 心筋梗塞・静脈血栓症 経口避妊薬投与時・妊娠 【低値】 先天性第X因子欠乏症及び 保因者・DIC・肝障害
4052	第XI因子 2B420-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 0.4	4	血漿 凍結	3~5	* 223 血液	凝固時間法	75~145 %		【高値】 経口避妊薬・妊娠末期 【低値】 先天性欠乏症・新生児・DIC 妊娠・肝硬変・循環抗凝血薬
4053	第XII因子 2B430-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 0.5	4	血漿 凍結	3~5	* 223 血液	凝固時間法	46~156 %		【高値】 心筋梗塞・静脈血栓症 経口避妊薬投与時・妊娠 【低値】 先天性第XII因子欠乏症及び 保因者・ネフローゼ症候群・肝障害
2605	第XIII因子抗原量	クエン酸Na 血漿 0.4	4	血漿 凍結	3~5	* 223 血液	LA	70以上 %		【低値】 先天性第XIII因子欠乏症 重症肝実質障害・DIC
2184	vW因子マルチマー解析 (フォンウィルブランド因子マルチマー解析) 2B490-0000-022-233	クエン酸Na 血漿 0.5	4	血漿 凍結	9~15		SDS7ゲロス ゲル電気泳動法	NORMALパターン		【高値】 DIC・血栓性疾患・心筋梗塞 敗血症・腎疾患・肝障害 【低値】 von willebrand病・骨髄腫 自己免疫性疾患

* 出血・凝固検査の包括 1回に採取した血液を用いて3項目以上行った場合
3項目又は4項目：530点 5項目以上：722点

※トロンボモジュリンは、膠原病の診断若しくは経過観察又はDIC若しくはそれに引き続いて起こるMOF観察のために測定した場合のみ算定できる。



凝固・線溶系

コード	検査項目 JLAC10コード	検体量 (mL)	容器 (No.)	保存	所要 日数	実施料 判断区分	検査方法	基準値	備考	異常を示す主な疾患
9108	血小板第4因子 (PF4) 2B620-0000-022-023	クエン酸Na テオフィリン 血漿 0.3	14	血漿 凍結	3~7	178* 血液	EIA	20以下 ng/mL	130ページ採取法参照	【高値】DIC・脳血栓症・心筋梗塞 深部静脈血栓症・腎不全 【低値】血小板減少症
9107	β-トロンボグロブリン (β-TG) 2B600-0000-022-023	クエン酸Na テオフィリン 血漿 0.4	14	血漿 凍結	3~7	177* 血液	EIA	50以下 ng/mL		
9282	第Ⅷ因子様抗原 (vWF Ag) 2B450-0000-022-062	クエン酸Na 血漿 0.3	4	血漿 凍結	4~6	151* 血液	ラテックス 凝集法	50~155 %		【高値】肝炎・肝硬変・肺炎・腎疾患 ネフローゼ症候群・DIC 【低値】von Willebrand病 自己免疫性疾患・慢性骨髄増殖性疾患
4175	第Ⅷ因子インヒター 2B460-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 1.0	4	血漿 凍結	3~6	148* 血液	Bethesda法	検出せず BU/mL		【高値】第Ⅷ因子に対する 循環抗凝血素の産生 補充療法を受けた 血友病B患者の一部
4178	第Ⅸ因子インヒター 2B470-0000-022-311	クエン酸Na 血漿 1.0	4	血漿 凍結	3~6	148* 血液	Bethesda法	検出せず BU/mL		【高値】第Ⅸ因子に対する 循環抗凝血素の産生 補充療法を受けた 血友病B患者の一部